
のぞヒビ探偵事務所～のぞみと響と時々ダークドリーム!!～

ターザン

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

のぞヒビ探偵事務所〜のぞみと響と時々ダークドリーム！〜

【Nコード】

N6483V

【作者名】

ターザン

【あらすじ】

突如異世界の狭間パラレルゾーンに連れてこられ探偵させられた響とのぞみ、さらに新たな仲間となったダークドリーム、果たして今日の依頼人は？

第0依頼 設定説明しないと女がすたることけってゝい」

ここは様々な世界の狭間にある空間・パラレルゾーン、ここにひとつの探偵事務所がありました。

のぞみ「……………」

響「……………!!!」

2人「ブハアアアア!!」

おやおや伝説の戦士がそんな深い溜め息ついて良いんですか？

のぞみ「そんな事いわれても」

響「全パラレルワールドの人物設定記録片っ端から無理やり頭にたたき込まれたら溜め息もつきたくなるよ!!」

情けないですね、ほら読者様に挨拶したらどうですか？

のぞみ「え？うわぁ・・・えっと、私は夢原のぞみ!!希望のプリキュアのキュアドリームだよ!!」

響「私は北条響!キュアメロディーね!!」

2人は変身できないんですよ。

のぞみ「それ気になってた、どうして変身したらダメなの?」

変身したら依頼が簡単に終わってしまうからですよ、深く細かく調査してもらいますからね。

響「はいはい、でここはパラレルゾーンって言って色んな世界の間にある空間なの!!」

はい間違い罰ゲーム!!

ガッン!!

響「痛っ!?! た、タライ!?!」

のぞみ「ええ!?! 何が間違ってるの?」

ここはパラレルゾーンではなくパラレルゾーンですよ。

響「そこ!?!」

「ー」と「ゝ」も大きな違いですよ。

のぞみ「うゝ。」

では説明をお願いしますのぞみさん。

のぞみ「え、えゝと・・・これから20人の依頼人が訪れるこの事務所で依頼を解決すれば元の世界に帰れる。」

はあ・・・

のぞみ「うつΣ!?!」

正解！！

よく覚えましたね。

のぞみ「よ、良かった。」

響「え」と依頼解決に成功するとミラクルライトが一本もらえて・
・」

のぞみ「失敗すると一本消える・・・だよね？」

その通り、つまり20人が21人になったりするから気をつけてくださいね。

響、のぞみ「はい！！」

つづく

第0依頼 設定説明しないと女がすたることけってゝいゝ（後書き）

次回！！第1依頼

のぞみ「そっくりさん？」

????「戦えって言われて・・・」

響「うわぁ！？誰か来た！？」

????「さぁ始めるわよ！！海賊と集大成の戦いを！！」

第1依頼 似た者同士

第1依頼 似た者同士

ここは色々な世界と通じる空間・パラレルゾーン、そこにひとつの建物がありました。

のぞヒビ探偵事務所

では少し中を覗いてみましょう。

のぞみ「ダメエー!!」

おっと!?

のぞみさんどうしました? いきなり中から飛び出して。

のぞみ「今響が着替えてるから入っちゃダメ!!」

それはいけませんね、待ちましょう。

数分後

やつとはいれましたね。

響「ごめんなさい。」

謝らなくていいですよ、おや? 誰か来たみたいです。

のぞみ「依頼人さん?」

がちゃ

「???」あ、あの〜」

響「え、え〜とあなたは・・・」

3!!

のぞみ「え?」

2!!

響「ま、まさか!?!え〜と!?!」

1、0!!

パソコン!!

のぞみ「いったあい!?!」

響「こ、こんどはバケツ?」

時間切れです、ちゃんと覚えてください。

「???」あの〜、いいですか?」

のぞみ「あ、はい!?!」

響「あなたは『ヤイバの世界』の武藤アイリさんですね?」

アイリ「あ、はい。」

武藤アイリ、手っ取り早く言うと『蒼牙の嫁、でキュアディリー』です。

響「適當過ぎでしょ（汗）」

指の限界、わかって。

アイリ「実は今日こんなものが。」

手紙・・・果たし状のようですね。

響「送った人は・・・海賊？」

のぞみ「海賊？誰だろう・・・あ」

はい残念！！

フラッシュタイミング！！コチヨコチヨマシーン！！

のぞみ「にやははははは！？やめっにやははははは！？」

アイリ「恐ろしいわねここ。」

響「はあ、帰りたい・・・海賊つてキュアパイレーツだよね。」

人々の自由と笑顔を守り続けてきた何人かのプリキュア戦士、凶悪な敵の前に失った力を受け継いだのはとんでもない奴だった！！その名は！！

???「変革を呼ぶ自由の海賊！！キュアパイレーツ！！」

のぞみ、響、アイリ、鳴滝「来たあああああああ!!」

ん?今なんかいなかった!?

パイレーツ「歴代スーパー戦隊の力を受け継いだゴージャードと平成仮面ライダーの力を受け継いだ仮面ライダーディケイドをモチーフにした私達プリキュア!!!勝負にふさわしいわ!!!」

アイリ「え、面倒くさいなあ、じゃ依頼はこの戦いをどうにかするって事で。」

のぞみ「んないい加減な・・・戦うのは止めにしましょう?」

パイレーツ「お黙り!!」

アイリ「でもディリーの力今無いしな、どうしよう・・・」

はい、修理しといたよ。

響「早っ!?!」

のぞみ「ていうか地味に戦わせようとしてない!?!」

パイレーツ「変身できるようね、はやくなさい!!」

のぞみ（解決しないと帰れへん!!）

響（ここは何とかせえんとほんまにまずい!!）

何故関西?

響「あ、争い事は良くないよ！！戦いなんて止めようよ！！」

のぞみ「そ、そうだよ！！戦いなんて絶対ダメ！！」

パイレーツ「邪魔立てする気？いい度胸ね。」

パイレーツが鍵を何かにさしたぞ！？

「キュウウアブロッサム！！」

パイレーツ「ブロッサムシャワー！！」

うわあ！？室内で暴れないでえ！？

響「ひいいい！？」

のぞみ「うひゃあああ！？」

アイリ「この！プリキュア・スキヤニングチェンジ！！」

「キュアライド！！ディリー！！」

ああ！？変身しちゃった！！

のぞみ「助けてディリー！？」

響「ひゃああああ！？」

「キュアライド！！ブロッサム！！」

ディリーはブロッサムに変わりましたね。

ディリー「ていや!!」

パイレーツ「ぐあ!?やるわね、さすが集大成・・・」

ディリー「止めようよ戦いなんて、能力似てるんだから同じだって。」

パイレーツ「確かに似てるわね、でも戦いは終わらないわ!!」

「キュウウアエンジェル!!」

ええ!?キュアエンジェル!?

響「どのエンジェル?」

のぞみ「そこは想像じゃない?」

「ファイナルキュアライド!!ディリー!!」

ディリー「戦いはやだつて・・・」

「プリキュアルーレット!!ピーチ!!キュアライド・エンジェル、」

エンジェルピーチ「ん?何!?!」

アイリ「はい、状況判断よろしく。」

エンジェルピーチ「ええ!？」

.....

数時間後

響「いつまでつづくの?」

さあ?

のぞみ「あ、必殺技。」

デイリー「セイヤアアア!」

パイレーツ「ハアアア!!!」

ドカアアアン!!

パイレーツ「や・・・やるわね。」

デイリー「あなたこそ・・・良い戦いだっ たわ!!」

2人とも握手してますね。

響「一見落着だね。」

のぞみ「そだね!!」

というわけで

依頼失敗！！

響「ええ！？」

のぞみ「何で！？」

依頼は戦いを止めるですよ？決着つけさせてどうすんですか。

響、のぞみ「そんな～！！」

つづく

第1依頼 似た者同士（後書き）

次回！！

??? 「何故私は出られなかったのよ!？」

響 「そんな事言われても・・・」

のぞみ 「困ったなあ・・・」

第2依頼 誰か魂の嘆きを止めて!!

第2依頼 誰か魂の嘆きを止めて!!

響「せっせっ!!」

のぞみ「えっさほいさ!!」

お二人は何をやってるんですか？

響「お掃除ですよ。」

のぞみ「この間はデイリーとパイレーツがハチャメチャしましたからね・・・ていうか手があいてたら手伝ってください!!」

さてさて今回の依頼人は誰かな!?

響「スルーした(汗)」

のぞみ「うえ〜ん(涙)」

ごめんごめん、おっ?
がちゃ

????「ここよね?」

のぞみ「?」

響「ああ!?!エレン!!」

これは思わぬ登場ですね。

黒川エレン・キュアビート、マイナーランドの歌姫セイレーンが改心したのだ。
こんな感じ？

エレン「OK」

のぞみ「依頼人だよね？依頼は何？」

エレン「実はお願いがあつて・・・」

響「どしたの？」

エレン「何故私は出られなかったのよ!？」

まさかプリキュアオールスターズ×仮面ライダー以下（略）に？

エレン「そうよ、何故なの!？」

のぞみ「いやだってまだtelevisionに出てなかったからでしょ？」

響「なんでテレビ発音良いの？」

エレン「でも出して欲しかったわ、フォーゼも会話にでたんだから。」

という事は作品に出たいというのが依頼ですね？

エレン「そうよ!-!」

響「でも今更ねえ。」

のぞみ「もう完結して1ヶ月ぐらい経ってるし・・・」

エレン「どうすれば・・・どうすれば!?!」

そうだ、ターザンさんの所に行きましょう。

のぞみ「ええ!?!あなたがターザンさんじゃないの!?!」

私はしがないナレーションですから。

響「そうだったの。」

エレン「行くわよ!?!」

・・・

ターザンの家

ターザン「あのねえ、無理って事ぐらいわかるでしょ?」

エレン「そこを何とかお願いします!?!」

響「お願いターザンさん!?!」

のぞみ「何とかしてあげて!?!」

ターザン「だから・・・!?!?」

響（まさかまた私達に依頼成功させないか？ああ？）

のぞみ（私達はさっさと元の世界に帰りたいんだよとおなんだよああ？）

ターザン「わ、わかりました！！何を言ってるんですか最初からそういうつもりでしたよ！？（女って怖あΣ）」

エレン「やったああ！！」

んでどうするんですか？

ターザン「こうやります。」↑

・・・・・・

プリキュアオールスターズ×（以下略）

ディケイド「くっ、俺たちの必殺技が効かない！？」

ドリーム「絶対あきらめない・・・」

ティガ（でもどうすれば・・・）

ウエルザード伯爵「はははは！！滅べ！！」

その時！！

????「待ちなさい！！」

ウェルザード伯爵「何者だ!？」

???「爪弾くは魂の調べ!!--キュアビート!!--」

ドリーム「キュアビート!!--」

ビート「あなた達は下がって!!--ラブギターロッド!!--おいで、ラ
リー!!--」

ラリー「ラリー」

ビート「ロッドモード!!--駆け巡れ、トーンのリング!!--プリキュ
ア・ハートフルビートロック!!--」

ドガアアアン

ウェルザード伯爵「ぐあああああ!!--」

ディケイド「やった!!--」

ティガ（凄いぞキュアビート!!--）

ドリーム「ありがとうキュアビート!!--」

.....

のぞみ「おいしいところ全部ビートに取られてるじゃん!!--」

エレン「これよ!!--これこそ私の求めてたヒーローよ!!--」

響「ええ・・・」

ターザン「満足ならそれでいいよ。」

エレン「ありがとう2人とも！！じゃあね！！」

うお！？走るの速いな。

のぞみ「あれ？コレって・・・」

依頼成功！！

響、のぞみ「やったあ！！依頼成功！！」

お疲れ様です、はいミラクルライトです。

響「これで一步前進！！」

のぞみ「次の依頼も成功させよう！！」

つづく

第2依頼 誰か魂の嘆きを止めて!! (後書き)

次回!!第3依頼

???「狩りを手伝ってほしい。」

のぞみ「ええ!ちょっと変身できないのに・・・」

響「こんな奴ら相手すんの!?!」

???「ニヤア!!」

第3依頼 ヒと狩り行こうぜ!!

第3依頼　ひと狩り行こうぜ！！

ここは異世界の境にあるパラレルゾーン、そこにのぞヒビ探偵事務所というのがありました、おや？

のぞみ「んゝ．．．」

響「んゝ．．．」

おやおや考え事とは珍しいですね。

響「いやあさ、ここって探偵事務所だよね？」

そうですね？

のぞみ「探偵って事件の調査とか見張り！！とかだよな？」

まあ大概そうですね。

響「探偵らしい事してくない？一度も。」

さあ今回の依頼人は誰かな！？

のぞみ「またスルーした。（汗）」

コンコン、がちゃ

???「ここか？なんちゃら事務所ってのは？」

「???」「ご主人様探偵事務所ですニヤ。」

響「あっお客様!！」

のぞみ「え」と・・・」

3、2、1、0!!

ドン!!

響、のぞみ「落とし穴ああああ!？」

・・・

「???」「なんてデンジャラスなところなんだ(汗)」

「???」「ニヤア・・・」

響「え、え」とあなたは『モンスターハンター』のザギさんですね」

ザギ「あ、ああ。」

ザギ、ターザンのモンスターハンターの主人公だ。

「???」「僕はお供のアイルーニヤア!！」

のぞみ「かわいいいいい!!」

アイルー「ニヤア!？く、苦しいニヤア!？」

ここからはなしてあげなさい。

のぞみ「はい。」

アイル「ニヤア・・・ご主人様！！依頼を言うニヤア！！」

ザギ「そうだったな、依頼だ。」

響「なんですか！？」

のぞみ「なんでも解決しますよ！！」

ザギ「狩りを手伝ってほしい。」

響「まかせてください！！」

のぞみ「私達にかかれば・・・」

二人共！！わかってますか？狩りですよ？

響「大丈夫！！」

のぞみ「まかせて！！」

ザギ「よし、この装備を着てくれ。」

・・・

ザギ・シンオウガS一式！！（武器・太刀）

響・ディアブロス一式！！（武器・ガンランス）

のぞみ・モノブロス一式！！（武器・片手剣）

へえ意外と似合ってるじゃないですか。

アイルー「さあてひと狩り行きますかニャア！！」

のぞみ、響「おお！！」

ザギ（こいつら狩りを甘くみてるのか？）

・・・

舞台は砂漠！！

のぞみ「あつつい」。

響「溶ける」。

ザギ「ほら、クーラードリンクだ、飲んでおけ。」

これは冷たくて暑さにも強くなれそうですね。

のぞみ「くうくう生き返る」！！

響「暑さもへっちゃら・・・ザギさん？」

ザギ「・・・」

ザギさんどうしました？太刀に手を添えて。

アイルー「ご主人様！！」

ザギ「お前ら武器を構えろ！！」

のぞみ、響「えっ？」

ドオオオオン！！

おお！！

響「うわああああ！！？」

のぞみ「ななな何あれええ！！？」

ザギ「あれが狩りの標的の一匹だ！！」

凶暴肉食獣ティガレックス亜種！！

響「変身出来ないのにあんなの相手にすんの！？」

のぞみ「きゃああああ！！？」

ザギ「チッ、一旦退くぞ！」

ザギは閃光玉とペイントボールをなげ一旦退いた。

.....

洞窟内

響「はあはあ・・・」

のぞみ「びつくりしたあ・・・」

ザギ「・・・依頼する相手を間違えたな。」

ちよつとザギさん!?

響「何よその言い方!？」

のぞみ「ひどいよ!!」

ザギ「ひどいのはどっちだ!! モンスターが出てキヤアキヤアわめいて、他のモンスターが来たらたった三人では対処出来ない!!」

ザギさん、2人は狩りは初めてで・・・

ザギ「関係ないな、依頼を引き受けたら命賭ける!! それがハンターだ。」

ザギは1人でどこかへ行ってしまった。

ザギさん行っちゃいましたね。

響「何よあいつ・・・」

アイルー「ご主人様をせめないでほしいニヤア。」

なんかあつたんですか？

アイルー「ご主人様は悔しいんですニャア、ご主人様が守っていた村はモンスターに壊滅寸前まで追い込まれてしまつて・・・他のハントーは他の村に派遣されて頼れるのがこしかなかったんですニャア、ご主人様は一般人を巻き込んでしまつて落ち込んでいるんですニャア。」

まさか村を壊滅に追い込んだモンスターつて・・・

アイルー「あのモンスターと他のモンスターですニャア。」

響「・・・ああもう！！あいつ探そう！！」

のぞみ「うん！！」

アイルー「ニャア！！」

やっぱりほつとけませんよね？

・・・

ザギ「はぁ・・・八つ当たりしちまつた・・・」

やあザギさん。

ザギ「うお！？お前あいつらの所いただろ！？」

私はしがないナレーションですから神出鬼没です。

ザギ「あ、そう・・・!!」

ザギさん？

ザギ「さっきのティガレックスだ!! 畏を・・・ぐああ!!」

じ、地面から角が!?

ザギ「ディアブロス亜種か・・・くそ!」

ん? ザギさんあの湖にいるのはまさか!?

ザギ「なっ、ドスガレオス亜種!」

三体同時!?

ザギ「くっ!」

ザギは太刀を構える。

??? 「ザギさあぁん!!」

響さん!! のぞみさん!! アイルーさん!!

ザギ「お前達・・・何で?」

響「あんなで仲間ほつとかないつて!!」

のぞみ「頑張ろう!!」

アイルー「ご主人様!!」

ザギ「・・・よし!!」

・・・

響「はあはあ」

のぞみ「や、やった!」

ザギ「よし、なんとかなったな・・・ありがとう。」

へえ、ザギさん御礼なんて言っんですね。

ザギ「う、うるさい!!」

アイルー「照れてますニャア。」

依頼成功!!

のぞみ「ザギさんのおかげだよありがとう。」

響「一歩前進!!」

ミラクルライト2本目ですね。

ザギ「よし、帰ろう。」

アイルー「ニャア。」

・ ・ ・ ・ ・

事務所

響「『今日は・・・ハンターが・・・依頼に・・・』」

のぞみ「何してんの？」

響「『来ました・・・』ん？ああ、これから報告書を作ろうと思って。」

どこかの2人で1人の仮面ライダーですな。

響「うん、意識してた。」

のぞみ「あら〜」

ミラクルライト残り18本！！

つづく

第3依頼 ヒと狩り行こうぜ!! (後書き)

次回!! 第4依頼

響「うん、なんかしびれるようなゲームがしたいなあ。」

???「なら俺達にまかせろ!!」

のぞみ「あ、あなた達は!？」

???「ゲートオープン!! 開放!」

第4依頼 もの足りなさはライフで受ける!!

第4依頼前編 ゲートオープン！！開放！！

のぞみ「ねえねえもつと探偵らしい事しよ〜よ〜。」

そんな事言われたって・・・依頼解決も探偵のうちですよ？

響「……………」

響さん？

のぞみ「何やって…………ん？」

『太陽よ、炎をまといて龍となれ！！太陽龍ジーク・アポロドラゴン！！レベル3で召喚！！』

響「キタア！！ジークアポロドラゴン！！」

バトルスピリッツブレイブですね。

のぞみ「バト・・・ブレイブ？」

バトルスピリッツブレイブ、日曜日朝7時より絶賛放送中！！

響「なに宣伝してんのよ？」

この間ターザンさんがXレアを当てたんですよ。

のぞみ「ねえねえバトブイってなあああにいいい！！？」

・・・

のぞみ「なるほどバトルスピリッツブレイブ。」

響「実際にバトルフィールドでバトルしてみたいなあ。」

???「バトルしたいのか？」

だ、誰！？

???「俺達にまかせろ！！」

のぞみ「誰なの！？」

響「ああ！！」

???「俺は馬神トツパだ！！」

???「俺は馬神ダン！！依頼を頼みに来た！！」

響「うわぁ本物だぁ！！」

のぞみ「依頼ってなに？」

バシン「なんかバトルフィールドに異常が起きてるらしいんだ。」

ダン「だから俺達とバトルをしながらバトルフィールドを調査してほしいんだ。」

響「やりますやります！！ダンさんは私とね！！」

デッキ！？いつの間に（汗）

のぞみ「探偵らしい事・・・」

響「行くよー！！」

「ゲートオープン！！開放！！」

・・・

のぞみ「私初めてなのに強い人とやるの？」

バシン「デッキは貸してあげるからさ。」

・・・

響「この日 wait していた！勝負よダンさん！！」

ダン「のぞむところだ！！」

・・・

のぞみ「いったゝい！！」

バシン「俺の勝ち！！今のところは異常はないな。」

のぞみさん3ターンで負けるってどういう事！？

のぞみ「だって・・・あれ？響は？」

あ、けっこう良いところまで行ってますよ。

響 ライフ3 スピリット 『アンキラーザウルスLv3』、『ブレイドラLv2』

ダン ライフ4 スピリット 『ブレイドラ2体Lv1、2』

響「私のターンね、スタートステップ！！コアステップ！！ドローステップ！！リフレッシュステップ！！メインステップ！！」

ダン「何がくる？」

響「北斗七星龍ジークアポロドラゴンをLv3で召喚！！不足コストはアンキラーザウルスから！！」

ダン「Xレアを持っていたか！？」

響「さらにマジックドラゴンズラッシュ！！系統・聖龍を持つスピリットがBPを比べ相手のスピリットだけを破壊した時回復する！！不足コストはブレイドラから！！アタックステップ！！ジークアポロドラゴンいけえ！！」

凄い、スピリットを完全に操ってる！！

バシン「なかなかやるな。」

のぞみ「いけえ響！」

ダン「フラッシュタイミング！蛮騎士ハーキュリーをLv3で神速

召喚！！不足コストとコアは2体のブレイドラから！！」

ハーキュリーは9000、ジークアポドラゴンは6000、
さんの勝ち・・・

響「フラッシュタイミング！！マジック！！ギャラクシーエターナ
ルレクイエム！！このターン、自分のスピリット全てを最高Lvで
扱う！！」

ジークアポドラゴンBP11000

ハーキュリー破壊！！

バシン「かなり良い戦法だ！！」

のぞみ「凄い！！」

響「ドラゴンズラッシュの効果でジークアポドラゴン回復！！再
び攻撃！！」

ダン「ライフで受ける！！」

ダン ライフ3

響「ターンエンド！！」

ダン「かなり研究したみたいだな、初バトルでここまで出来るなん
て。」

響「毎週見えますから！！」

ダン「よし、スタートステップ!!」

ダンのさんのターンですね。

バシン「ここからがダンの店どころだな。」

ダン「メインステップ!!ヤンオーガをLv3で召喚、さらにマジック・ライフチャージ!!」

ダンはライフチャージで自分のスピリットを破壊、その効果でコアを3個、さらにヤンオーガの効果のコンボでさらに3個追加ですか。

バシン「来るぞ!!」

のぞみ「へっ?」

ダン「輝龍シャイン・ブレイザーを召喚、!ヤンオーガを2体召喚ターンエンド。」

響「またコアを集めるんだね、スタートステップ!!」

.....

響「はあ負けた。」

ダン「いや、初めてにしては凄いよ。」

バシン「でも異常って何だ?」

のぞみ「とりあえず事務所で話を・・・」

あれ？

ダン「ゲートが開かない!？」

バシン「まさかこれがバトルフィールドの異常か!？」

????「その通りだ!！」

宇宙頂点王!？」

宇宙頂点王「お前達は一生ここから出られない!！私に勝たない限りな!！」

バシン「親父じゃない・・・どういう事だ？」

宇宙頂点王「過去に私はお前に倒された!！だが過去からやって来ましたあゝみたいなの？」

のぞみ「いきなりギャル口調!？」

響「私がやる!！」

響さん!？」

響「私は探偵!！ここでやらなきゃ女がすたる!！」

バシン「よし!！こいつを使え!！」

ダン「俺の也使え!！」

ターザンさんからです。

のぞみ「私は・・・あれ？何故かポケットに入ってた、はい。」

響「よし！ーやるわよ！ー！ー！」

まさかのつづくー！？

第4依頼前編 ゲートオープン!! 開放!! (後書き)

次回!! 第4依頼後編!!

宇宙頂点王「お前達は終わりだ!!」

バシン「負けるか!!」

ダン「デッキを信じる!!」

のぞみ「響!!」

響「きたああああ!!」

第4依頼後編 運命のドローステップ!!

第4依頼後編 運命のドローステップ!! (前書き)

あらすじ

バトスピをする事になった響達の前に宇宙頂点王が現れた、響は宇宙頂点王と戦う事に!!

第4依頼後編 運命のドローステップ!!

響「スタートステップ!!ドローステップ!!」

宇宙頂点王「かかってこい。」

・・・

のぞみ「なによ変な仮面付けちゃって!!」

バシン「まあまあ・・・」

ダン「さあどうする?」

・・・

響「ブレイドラ、サーベカウラスをLv1で召喚!!ターンエンド
!!」

宇宙頂点王「我がターン、出でよゴラドンLv2!!」

ちなみに響は少年激覇、宇宙頂点王は少年突破のように進行します。

宇宙頂点王「ターンエンド。」

響「スタートステップ!!コアステップ、ドローステップ!!・・・
きた!!」

バシン「良いの引いたみたいだぞ!!」

響「相手はリザーブにコアが残ってない、よし・・・サーベカウラスをLv2にアップ！！アタックステップ！！ブレイドラでアタック！」

宇宙頂点王「ライフで受けよう。」

宇宙頂点王　ライフ4

響「ターンエンド。」

バシン「まず1削ったか。」

のぞみ「頑張れ！！」

宇宙頂点王「ダークゴルドンをLv2で召喚、ターンエンドだ。」

ダン「何もしないだど？」

響「チャンスね、アタックステップ！！ブレイドラでアタック！！」

宇宙頂点王「マジック！！ヴィクトリーファイア！！」

ヴィクトリーファイア！？

のぞみ「何々！？」

バシン「BP3000以下のスピリットを2体破壊する。」

ダン「しまった、チャンスだと油断してスピリットを全滅させられ

たか！！」

響「そ、そんな！？」

宇宙頂点王「我がターン、ヤンオーガをLv3、さらにライフチャージでコアを6個補充、ゴラドン、ダークゴラドンでアタアアック！！！！」

バシン「だめだ、あの様子だとフラッシュが無い。」

ダン「ライフでしか受けられないか。」

響「きゃああああ！？」

響 ライフ3

のぞみ「響！」

宇宙頂点王「ははは！！ターンエンドだ。」

響（まだこれを使っわけにはいかない、みんなと元の空間に戻るために！！）

響さんがドロしましたね。

バシン「まだまだここからだな。」

響「バシンさん！！力をかります！！メインステップ！！」

バシン「しゃあ！！いけえ！！」

響「龍皇ジークフリードをLv2で召喚!!」

宇宙頂点王「ほう、ジークフリードか。」

響「さらにマジック!!サザンクロスフレイム!!」

ダン「よし、BP4000以下のスピリットは全滅、宇宙頂点王のスピリットは0だ!!」

バシン「だが今アタックしたら次ブロックできない。」

響「ターンエンド。」

.....

turn 25

ターン25、響さんのライフは1、スピリットはLv3の龍皇ジークフリードとLv2のヤンオーガ2体。

バシン「響は赤と緑のデッキか。」

ダン「宇宙頂点王はライフ3、スピリットはLv2の蛮騎士ハーキユリーにネクサスの隠されたる賢者の樹Lv2.....か。」

のぞみ「ピンチなの?」

ダン「ああ、見る宇宙頂点王がドローステップだ。」

宇宙頂点王「はははははは！！行くぞ、隠されたる賢者の樹をLv1にダウン！！」

響「コアをためてる！！」

バシン「来るぞ！！」

宇宙頂点王「激神皇カタストロフドラゴンをLv3で召喚！！」

響「カタストロフドラゴン！？BP20000！？」

宇宙頂点王「行くぞ！！！激神皇カタストロフドラゴンでアタアアアク！！」

響「ヤンオーガでブロック！！」

宇宙頂点王「激神皇カタストロフドラゴンはコスト5以下のスピリットにブロックされた時回復する！！ヤンオーガを破壊、さらにもう一度アタアアアク！！」

響「もうさせない！！フラッシュタイミング！！マジック、サイレントウォール！！」

白も入れてたんだ！！

ダン「よし、これはチャンスだ。」

響「ヤンオーガでブロック！！」

宇宙頂点王「ターンエンド。」

響「ドローステップ・・・ダンさんいくよ!!」

ダン「いけえ!!」

響「太陽龍ジークアポドラゴン!!Lv3で召喚!!」

これで響さんのスピリットはジークアポドラゴンとジークフリード!!

のぞみ「かつこいいい!!」

響「太陽龍ジークアポドラゴンでアタック!!」

宇宙頂点王「ライフで受けよう。」

宇宙頂点王　ライフ2

響「ターンエンド。」

宇宙頂点王「行くぞ!!一角竜ヴォルスングを召喚、さらに!!」

のぞみ「なっ、何!？」

バシン「この邪悪なオーラは!!」

ダン「まさか!？」

宇宙頂点王「一角竜ヴォルスングを転召!!いでよ!!魔龍帝ジークフリード!!Lv3で召喚!!」

ダン「魔龍帝ジークフリード!!」

バシン「まずい!!」

宇宙頂点王「ははははは!!行くぞ!!魔龍帝ジークフリードでアタック!!」

響「龍皇ジークフリードでブロック!!」

ジークフリード破壊、効果により響のライフ1回復、よってライフ2

宇宙頂点王「馬鹿め!!蛮騎士ハーキュリーでアタック!!」

響「のぞみ!!さっきひいたカード使うよ!!」

のぞみ「きたあ!!」

響「ブリザードウォール!!これで私はライフの1しか削られないわ!!ぐう!!」

宇宙頂点王「しのいだようだがライフは1、私は2、貴様はおわりだ。」

宇宙頂点王はターンエンドだけど隠されたる賢者の樹によってジークフリード、ハーキュリーが回復しました。

バシン「響はジークアポドラゴンのみ、できるか?」

ダン「まだあいつの目は死んでない、大丈夫さ。」

響「リフレッシュステップ。（これがおそらくラストターン、コアは十分にあるけど宇宙頂点もコアを十分に持つてる・・・ここでやらなきゃ女がすたる！！）」

宇宙頂点王「そのドローステップに全てを託すか！！」

バシン「大丈夫さ！！」

ダン「どんなカードがきても逆転できる！！」

のぞみ「頑張れ響！」

響「ドローステップ！！・・・きたああああ！！」

宇宙頂点王「！？」

バシン「よっしゃ！！」

ダン「キースピリットをひいたか！！」

のぞみ「響！」

響「いでよ！！光導龍騎ゾディアック・アポクリムゾン！！Lv2で召喚！！」

凄い！！BP24000！！

響「ゾディアック・アポクリムゾンの召喚時効果発動！！デッキの上から12枚をオープン、その中から神聖・光導をもつスピリット

トをコストを支払わず好きなだけ召喚できる！！よって北斗七星龍
ジークアポドラゴンを2体をLv1で召喚！！」

ダン「凄い効果だ！！」

宇宙頂点王「Xレア軍団で私を倒すつもりか、できるものかぁ！！」

響「さらにマジック・ダブルハートを使用、赤の北斗七星龍ジーク
アポドラゴンのシンボルを2つにする！！そして北斗七星龍ジーク
アポドラゴンの効果、砲龍バル・ガンナーをノーコストで召喚、
ゾディアックアポクリムゾンにブレイヴ！！アタックステップ！
！白の北斗七星龍ジークアポドラゴンでアタック！！」

宇宙頂点王「蛮騎士ハーキュリーでブロック！！」

響「続いて太陽龍ジークアポドラゴンでアタック！！」

宇宙頂点王「魔龍帝ジークフリードでブロック！！」

宇宙頂点王「フラッシュ！！ネバーギブアップ！！これでカラスト
ロフドラゴンは相手スピリットを破壊した時回復する！！」

響「ここが正念場！！ゾディアックアポクリムゾンでアタック！
！！」

宇宙頂点王「カラストロフドラゴンでブロック！！さらにフラッシ
ュ、コアステールにより貴様のスピリットはコア一つになりLv
1の12000だぁ！！」

響「まだまだあー！！フラッシュタイミング、ギャラクシーエターナルレクイエムを使用！！これでコアが足りなくてもスピリットを最高Lvとして扱う！！」

バシン「逆転したぜ！！」

ダン「カードを操っている！！」

カタストロフドラゴンを撃破！！

宇宙頂点王「何！？」

響「北斗七星龍ジークアポロドラゴン！アタック！！」

宇宙頂点王「ぐああああ！？」

宇宙頂点王 ライフ0

.....

ダン「ありがとう、これでバトルフィールドの異常はなくなった。」

バシン「これで心置きなく戦える！！」

依頼成功！！

響「ミラクルライト三本目ゲット！！」

のぞみ「いえーい！！」

バシン「じゃあな!! 楽しいバトルだったぜ!!」

響「うん!!」

ダン「じゃあな!!」

.....

『バトスピ・・・最高・・・』

響「んゝ、何て書こう?」

のぞみ「ナレーションさんがコーヒー入れてくれたよ。」

響「あ、ありがとう・・・ブフォ!? にがあ!?!」

100%ブラックです!!

響「こらあああ!!」

ミラクルライト残り17本

続く

第4依頼後編 運命のドローステップ!! (後書き)

次回!! 第5依頼

??? 「ゾンビ倒しに協力してくれ。」

響 「ひいひい!?!」

のぞみ 「こないでえ!?!」

第5依頼 のぞびハザード

第5依頼 のぞヒビハザード

のぞみ「ねえねえ響、好きな人いる？」

響「ええ！？」

それは気になります。

響「うーん、今はないけどタイプとしてはマッチョな人かな？」

ガチャ

???「すまないが依頼を・・・」

響「そうそうあんな感じの・・・依頼人！？」

???「そうだが・・・」

のぞみ「スッゴい筋肉！！」

???「依頼していいのか？」

のぞみ「はい！！どちら様・・・あ！？」

響「ちよっ！？」

久々にはいドーン！！
スタツΣ

「吼新星！！キバレンジャー！！」

響「キバレンジャー！？」

キバレンジャー「吼新星！！乱れ山びこ！！レッツゴー・山びこバ
ンドー！！」

ギューイイイイイン！！

のぞみ、響「ぎゃあああああ！？」

・・・

うるさかったですねえ。

響「み、耳が・・・」

のぞみ「え」と・・・依頼人は・・・バイオハザードの世界のクリ
スさん？」

クリス「あ、ああ・・・実はゾンビの大群がこちらに向かってきて
るんだ。」

響「ゾンビ！？」

のぞみ「小学校の時歌ったやつ？」

それはトンビ。

のぞみ「じゃあ高い所からロープをつけて飛び込むやつ？」

響「それはバンジー。」

のぞみ「ああ！！エターナルの・・・」

クリス「事務所間違えたそうだ、すまない。」

響「いやいや合ってます！！合ってます！！」

・・・

ゾンビ・・・ウィルス感染により人間が死んだまま動き『食べる』
という本能だけで動く怪物。

響「噛むの？」

クリス「噛むぞ。」

のぞみ「噛まれたらどうなるの？」

クリス「死ぬ、もしくはゾンビになる。」

のぞみ、響「きゃああああ！！？」

響「嫌だ嫌だ嫌だ！！」

のぞみ「どうすれば良いの！？」

????「すいませ〜ん。」

クリス「ウェスカー!?!」

なんかキャラ違うんじゃないか!?

ウェスカー「アルバート・ウェスカーです、実はお願いが……」

のぞみ「な、なんですか?」

ウェスカー「俺と戦え!!」

一同「唐突すぎるうう!?!」

のぞみ「で、でもゾンビが……」

ウェスカー「全部追い払ったぞ。」

一同「準備良いなおい!?!」

……

なんだかんだでクリスの依頼はゾンビ退治からウェスカー退治になった。

ウェスカー「うおお!!」

響「ひい!?!クリスさああん!?!」

クリス「これを使え!!」

マグナムにマシンガン!?!

のぞみ「よし！！・・・うりゃああああ！！」

ダダダダッ！！

響「おりゃああああ！！」

ダアアアン！！

クリス「危なっ！？」

ウェスカー「効かぬ！！」

効いてないし！？

ウェスカー「はああああ！！」

ウェスカーは手を地面に突き刺し触手を出し大回転させ二人を襲う。

響、のぞみ「きゃああああ！！？」

・・・

ウェスカー「俺が興味あるのはクリスだ、クリスよ、戻って決着をつけよう。」

クリス「仕方ないか。」

響「ああ・・・待つて・・・」

のぞみ「これじゃあ・・・」

依頼失敗！！ミラクルライト一本消滅！！

残念、次にいかしましょう。

響、のぞみ「はあ。」

ミラクルライト残り１８本

続く

第5依頼 のぞヒビハザード（後書き）

次回は豪華2本立て！！

第一本目 パンツとメダルと火野映司

????「オーズ終わっちゃった。」

響「そ、それが依頼！？」

のぞみ「ええ・・・」

第二本目 依頼内容完璧！！

????「ドゥモ、完璧な私の依頼よ！！」

響「依頼してる時点で完璧じゃないでしょ。」

のぞみ「何々？」

第6、7依頼 豪華2本立て！！二人の依頼者

第6、7依頼 豪華2本立て!! (前書き)

更新キタアアア!!

第6、7依頼 豪華2本立て!!

第一本目!! パンツとメダルと火野映司

のぞみ「はぁ・・・」

響「ふう・・・」

まあた溜め息ついて。

のぞみ「だってミラクルライト一本消滅しちゃったんだよ!？」

響「悔しいよお!!」

仕方ないですね、気晴らしに旅行でもいきますか？

のぞみ「旅行？」

響「早く帰りたいけど気晴らしに別世界に行くのは良いかもね。」

じゃあ色々準備を・・・

????「準備なんて大丈夫だよ!!」

響「だ、誰？」

のぞみ「え、え〜と・・・仮面ライダーオースの？」

????「うん、火野映司だよ、元気だった？」

そうだ二人は一度前作で会ってるんですね？

響「そうだよ。」

映司「旅行の話してたでしょ？準備なんてちよっとのお金と明日のパンツさえあれば大丈夫さ。」

響「ええ・・・」

のぞみ「それは無理やりじゃ・・・」

それであなただは何を依頼しに？

映司「あ、オーズが終わったからみんなで振り返ろうと思ってね。」

響「依頼はオーズを振り返ろう・・・で良いの？」

????「ああ。」

・・・誰！？

映司「アंक！？」

響「ええ！？消えたんじゃないの！？」

アंक「そこは気にするな、さつさとはじめる。」

のぞみ「はい・・・」

・・・

「タカ！トラ！バッタ！タ・ト・バ！タトバ！！タ・ト・バ！」

映司「なあ結局タカ！トラ！バッタ！って何なんだ？」

アंक「歌は気にするな。」

響「オーズのタトバコンボだね。」

のぞみ「次は次は！？」

・・・

「ガータガタガタギリ！！バツ！！ガタギリバツ！！」

響「ガタギリバコンボ！！」

映司「分身出来てすごい便利だったよ。」

のぞみ「ねえねえ私も分身してみたあゝ。」

アंक「すごっ！？」

・・・

「ラタラタゝ！！ラトラゝタゝ！！」

ラトラーターコンボですね、うわ眩しい！！

アंक「メズールやガメルに有効なコンボだ、トライドベンダーにより力をコントロールできる。」

のぞみ「ライオンにトラにチーターかぁ。」

映司「速さも並みじゃないぞ！」

・・・

「サゴーズ・・・サゴーズ!!」

のぞみ「力自慢のサゴーズコンボ!!」

初のロボット以外のロケットパンチですね。

響「ロケットパンチかぁ・・・」

アंक「空にゝそび。るゝく。が。のし・・・っておい！」

映司（自分で歌ったくせに・・・）

・・・

「タアアジャアアドルウウ!!」

アंक「そしてタジャドルコンボだ!!」

映司「俺達の友情のコンボだな!!」

のぞみ「最終回でも大活躍だったね!!」

響「さあ次いこう!!」

.....

「シャシャシャウタ!! シャシャシャウタ!!」

映司「シャウタコンボ!!」

のぞみ「高。さんは次。さん直伝の液化化もマスターしたんだね!!」

中の人を言うのはやめなさい!!

.....

「プッ!! トッ!! ティラアアノザウルウウス!!」

プトティラコンボ、オースの紫のコンボですね。

映司「コアメダルを破壊する力があるんだ。」

のぞみ「がおおお!!」

響「ちよつとのぞみ抱きつかないで!？」

.....

「ブラカアアワニ!!」

アंक「そしてこれが映画限定のコンボ、ブラカワニコンボだ。」

映司「蛇は苦手なんだけどなあ・・・」

響「笛を吹いて蛇を操れるらしいね。」

のぞみ「こわい・・・」

・・・

「タアアマシイイ！！タマシイイ！！タアアマシイイ！！ラア
イダアアダマシイイ！！」

映司「次も映画限定のタマシーコンボ！！」

アंक「何だよ何で俺を見るんだよ。」

響、のぞみ「元凶・・・」

アंक「うるせえ！！」

・・・

こんな感じですね。

ターザン「ちよつと待ったあ！！」

作者さん！？

響「何で来たの！？」

ターザン「忘れては困るな、ターザンのオリジナルコンボを!!」

.....

「キュ・コオ・マ!! キュコオオオオマア!!」

アंक「キュコオマコンボは本編で出てないから省いて良いだろ!!」

ターザン「ひどい!! ひどいすぎるうう!!」

映司「あゝあ落ち込んだじゃったよアंक?」

アंक「俺が悪いつてのか!？」

ターザン「スイカアイスあげるから一回だけキュコオマコンボは最強だつて言つてよおお!!?」

アंक「てめえらキュコオマコンボを勝るコンボなんてないんだぞ!!? わかつてんのか!？」

響「のぞみ、映司、ナレーション」変わり身早っ!？」

.....

映司「そんなわけありがとう、心置きなくフォーゼに交代できるよ。」

依頼成功!!

響「よっしゃミラクルライト!!」

アंक「シャウシャウ・・・もう二度と・・・ムシャムシャ・・・
来ないからな!!」

のぞみ「バイバイ。」

・・・

第二本目！

依頼内容完璧!!

のぞみ「それぞれそれ」

ちよつとモップで遊ばないでくださいよ。

のぞみ「掃除だもん。」

???「そんな腰の入っていないモップのかけ方じゃダメよ!!」

響「誰!？」

つづく

響「いやいやいやいやいや！？二本立てにした意味ないじゃん！？」

のぞみ「美希ちゃん！！」

蒼乃美希 キュアベリーです。

美希「ちよつと随分と説明適当じゃない？」

響「まあまあ、ところで依頼は？」

美希「そうそう、完璧な私からの依頼よ！！」

響「依頼してる時点で完璧じゃないし（汗）」

美希「何だか私をつけてる人がいるから正体を突き止めてほしいの！！」

のぞみ「やつと探偵らしい事だね。」

ストーカーですか、大体正体はあがってますけどね。

のぞみ「誰誰？」

この紙に書いてあるこの人です。

「プリキュア大好きの鳴滝！！またもやストーリーカー行為で補導！！」

のぞみ「鳴滝？誰だっけ？」

響「ちよつと!？」

はい来たドン！！

「おう!?!?!」

のぞみ「ジツ!？」

響「ジャイアン!？」

お願いします。

[illegible]

「ぎゃあ ああ ああ ああ ああ ああ ！？」

[illegible]

響「み・・・耳が・・・」

美希「あ、あの……」

のぞみ「くっ……あれ？ ジャイアンそれ依頼者のお菓子!!」

「ジャイアン、ムシヤムシヤ……うるせえ！！お前の物は俺の物だからな！！」

響「んな強引な・・・ああ全部食べちゃった。」

ジャイアン「あばよ!!」

.....

美希「で犯人は鳴滝なの？」

断定は出来ませんが恐らく。

響「ていうか逮捕じゃなくて補導なの!？」

のぞみ「んな学生じゃあるまいし。」

とりあえず調べましょう、決行は夜7時、2人はこれに着替えてください。

のぞみ「に、忍者?」

響「こっちはス。イキ。ズ?」

忍者にはナイフがあるしス。イキ。ズには4Dです。

響「飛び出して匂いも?」

です。

.....

そんなこんなで7時

通信機で連絡を取り合いますか？

美希「聞こえるけどあなたナレーションなのに通信機使えんの？」

信じるか信じないかはあなた次第。

響「美希！気をつけてね！！」

のぞみ「私達は今近くで見張ってるから!!」

脅威が来たらすぐに飛び出します！！

美希「わかつたわ。」

.....

美希「こちら美希、怪しい足音が後ろから聞こえますぞーぞ。」（小声）

響「まだ犯人とは断定できないからしばらく様子を見ます、どーぞ。」

美希「わかりました。」

美希さんやはり鳴滝に……ん？あれは……

美希「こちら美希、後ろの足音が速くなってます！……どーぞ！……」

のぞみ「今がチャンス!!」

いや、これでは逃げられてしまいます、美希さん……に向かって
くださいどーぞ!

……

???「……行き止まり!?!」

美希「残念ね!!」

響「あんた覚悟しいや!!」

のぞみ「よっ!!。妻!!」

お前は鳴滝じゃないな? 誰だ!?

???「……仕方あるまい。」

バサッ!!

のぞみ「あっ……」

響「なっ……」

美希「なん……だと?」

その正体は!?

「????「えええええ!?!」

マスオさん!!

響「マスオさん!?!サザ○さんのマスオさん!?!」

のぞみ「何で美希ちゃんをストーカーしてたの!?!」

マスオさん「な、何を言ってるんだ!?!これを見て……ストーカー
ーなんかじゃないよ!?!」

サ、サイン色紙?

マスオさん「ワカメちゃんが美希さんのファンだからサインをもら
いに来たんだ、偶然見つけたからなんか変な感じになってしまっ
たけど。」

響「じゃあ今まで美希をストーカーしてたのは……」

「????「それは私だ!」

鳴滝!?

鳴滝「蒼乃美希を手に入れるため……」

「????「ジャムおじさあぁん!!」

マスオさん「アン。ンマン！そんなに汚れちゃって！？」

のぞみ、響「思いつつつつつきり中の人ネタ！？」

マスオさん「新しい顔だよ！！」

アン。ンマン「元気100倍アン。ンマン！アアアンパアアンチ
！！」

鳴滝「おのれディケイドオオオオオ！？」

・・・

事務所

響「『なんとか事件は解決した』つと。」

のぞみ「ミラクルライトものこり16本か。」

響「美希もマスオさんにサインを上げてなんとか解決したけど鳴滝
が問題か・・・」

まあなんとかなるでしょ？美希さんも弱くはないし。

のぞみ「そだね。」

う
う
く

第6、7依頼 豪華2本立て！！（後書き）

次回！！第8依頼

???「よう、プリキュアの大いなる力を渡せ。」

のぞみ「いきなりそんな事言われても!？」

響「豪快だなあ。」

第8依頼 豪快な依頼!!

第8依頼 豪快な依頼!! (前書き)

要望不足なのでお願いします!!

第8依頼 豪快な依頼！！

響「まだミラクルライト16本も集めないといけないのかぁ。」

のぞみ「先は長いねえ。」

小さな事からコツコツとです。

ガチャΣ

響「あ、依頼者・・・」

???「おい、プリキュアの大いなる力をよこせ。」

のぞみ、響（さっそく命令！？）

・・・

???「マーベラスさんダメですよ、いきなり脅すような事をしては。」

マーベラス「良いだろ、さっさとよこせ。」

???「全く・・・」

???「だめだよマーベラス！！」

???「おっ？なかなか高そうな事務所じゃない！！」

???「うっはああ!!プリキュアですよね!?!一緒に地球を守る正義の戦士ですよね!?!」

のぞみ「いきなりそんな事言われても・・・」

響「私達今変身できないし・・・」

マーベラス「つべこべ言わずさっさと・・・」

面倒くさい!

ポチッΣ

???「ポヨ?」

カー。イ吸い込みよ!!

カー。イ「ポヨ!!」

響「ええ!?!ちよつと!?!」

マーベラス「何を!?!」

「ウワアアアア!?!」

・・・

響「・・・うっん」

のぞみ「こっちは?」

マーベラス「何だここ?」

????「真っ暗ですね。」

響「あの・・・えーと・・・」

まずは自己紹介しましょう。

マーベラス「てめえナレーション!」

早く早く。

マーベラス「つたく、」

・・・

響「じゃあマーベラスさん、どうします?」

マーベラス「知らねえよ。」

アイム「マーベラスさん、それはいけません。」

ハカセ「そうだよ!!」

ジョー「ここは協力しあうべきだ。」

ルカ「私もそう思う。」

鎧「俺もです!!」

のぞみ「マーベラスさん、協力しましょう?」

マーベラス「うっ・・・わかった、ただしプリキュアの大いなる力はいただく、それが依頼だ!!」

響「わかりました!!」

・・・

ジョー「しかし・・・まるで宇宙だな、早く抜け出したいものだ。」

アイム「その通りです、何だかふわふわして変な感じがします。」

のぞみ「見て見て、飛んでるみたいだよ」

ルカ「一人を除いてはね。」

響「イヤッホオオオ!!」

鎧「いや、2人ですね。」

ハカセ「探偵が遊んでどうするんだよ!?!」

マーベラス「はあ・・・」

・・・

響「ん、前に進んでるのかなあ?」

ルカ「ふわふわしてわかりにくいのよ!!」

鎧「そうだ！！ゴーカイチェンジ！！」

「マアアアジレンジャアア！！」

ゴーカイシルバー「マジシャイン！！」

のぞみ「おおお！！」

ハカセ「そうか、太陽の力だね！！」

ゴーカイシルバー「その通りです！！それ！！」

マーベラス「あ？」

ハカセ「ええ！？」

ジョー「どうなってるんだ？」

響「すごおおおい！！」

のぞみ「お菓子の国だああ！！」

ゴーカイシルバー「ええ！？何ですかこれ！？」

そこは一面お菓子だらけのお菓子の国だった！！

マーベラス「ていうかナレーションよくも！！」

気にしない気にしない。

ルカ「ま、不満なのは私達だけみたいね。」

響「クッキーだぁぁ!!」

のぞみ「ケーキケーキ!!」

マーベラス「はぁ。」

.....

とりあえずお茶会を開き話し合う一同。

マーベラス「どうするんだよこれから・・・鎧、そのチーズケーキとれ。」

鎧「はいどぞ!!」

ルカ「でもさプリキュアの大いなる力どうするわけ? 鎧、紅茶入れて。」

鎧「はいはい!!」

ジヨー「しかしそれだけじゃない、何故プリキュア×スーパー戦隊に俺達は出れなかったんだ? 鎧、野菜ケーキ。」

鎧「わかりましたぁ!!」

ハカセ「そりやまだゴーカイジャーが放送されてなかったからだよ、
鎧ヶーキの素材メモしといて。」

鎧「ロジャー!!」

アイム「確かにプリキュアはスーパー戦隊と関係ないですね。鎧
さん、マカロンをお願いします。」

鎧「かしこまりました。(キリッ)」

響「理由とかあるんですか？鎧さん、ブルーベリータルトを取っ
てください。」

鎧「アイアイサー!!」

のぞみ「教えてください!!鎧さん、オレンジジュースをお願いします。
ます。」

鎧「はいはい!!」

マーベラス「いや・・・な？プリキュアの大いなる力があればプリ
キュアの衣装が手に入るだろ？」

アイム「(ピクッ)」

響「まさか着たいんですか!？」

マーベラス「ちげえよ、前にアイムが警察だとかナースだとかやっ
たろ？」

・・・

カー。イ「ブフォ!？」

響「で、出れた!？」

マーベラスさん大丈夫ですか？

マーベラス「派手に・・・やられたぜ・・・」

・・・

アイム「色々と申し訳ありません、依頼は成功という事にさせていただきます。」

響「え？あ、はい。」

のぞみ「はあ・・・こ、こわい。」

ミラクルライト 残り15本!!

つづく

第8依頼 豪快な依頼！！（後書き）

次回！！第9依頼

響「ええ！？」

のぞみ「作者さんが依頼！？」

ターザン「うん。」

第9依頼！！予定発表！！

第9 依頼 予定発表!!

ターザン「どーん!!」

響「うわぁ!？」

のぞみ「さ、作者さん!？」

どうしたんですかいきなり!？」

ターザン「いやいやここに来たって事は依頼しかないでしょ？」

のぞみ「作者さんが依頼!？」

響「どんな依頼ですか？」

ターザン「ちよつと今新作を考えててね、まだまだ予定だけど宣伝してもらおうと思って。」

響「よく新作がつぎからつぎへと(汗)」

ターザン「まあまあ良いでしょ?。」

のぞみ「良いですけど・・・どんなの?。」

ターザン「これこれ。」

・・・

設定などが多少異なりますがご了承ください。

1999年…

プリキュアが初めてテレビに登場した時、私達は猛烈に興奮しました。

2011…

そして

つぼみ「そんな！？どうして・・・私達の住む世界に、本物の怪物はいないはずです！！」

響「きっと、誰かが呼び寄せたんだよ！！」

異世界に突如現れた怪物達

蘇る伝説の戦士

????「人間に未来などない、全てを滅ぼすのだ！！」

大決戦！！超プリキュアオールスターズDX！！

花咲つぼみ

つぼみ「夢は・・・叶わなかった・・・いえ、叶えなかったんです。

」

来海えりか

明堂院いつき

月影ゆり

えりか「大丈夫大丈夫!!」

いつき「この世界は終わらせないよ。」

ゆり「ここからが本当の戦いよ。」

北条響

南野奏

黒川エレン

響「ここに呼び寄せられたのよ。」

奏「白い服を来た男の子に。」

エレン「何か知らない?」

伝説の戦士達!!

美墨なぎさ

雪城ほのか

九条ひかり

日向咲

美翔舞

夢原のぞみ

夏木りん

春日野うらら

秋元こまち

水無月かれん
美々野くるみ

桃園ラブ

蒼乃美希

山吹祈里

東せつな

なぎさ「あなた達のおかげで私達は夢を諦めなかったんだよ？」

咲「私達はいつもあなた達に支えられてた。」

のぞみ「だからあなたも諦めないで。」

ラブ「そうだよ!!」

今までにないプリキュアの戦いが今始まる!!

ブロッサム「人々は支え合うから希望を捨てないです!!人々は希望を絶対に捨てません!!」

.....

さては超ウルトラ8兄弟をモチーフにしていますね？

ターザン「歴代最高傑作ウルトラ8兄弟!!見た時は感動したからさあ。」

のぞみ「伝説の戦士多くない？」

響「昭和ウルトラ兄弟サイドはマックスハートからフレッシュでし

よ？
」

ターザン「そこは仕方ないです。」

さてさて依頼は成功ですか？

ターザン「はい、どうぞ、今回は特別です。」

響「ええ！？二本もミラクルライトを！？」

のぞみ「良いんですか！？」

ターザン「作者権限。」

無理やりだなあ（汗）

ミラクルライト 残り13本！！

つづく

第9依頼 予定発表!!（後書き）

次回!!第10依頼

響「奏じゃん!!」

のぞみ「どうしたの？」

奏「実は気になることがあって・・・」

第10依頼 スイート戦隊!!

第10依頼 スイート戦隊!!

のぞみ「ZZZZZZZ」

響「ZZZZZZ」

起きろ!!

のぞみ「うわぁ!?!びつくりした!」

響「せっかく気持ちよく寝てたのに」。

寝てる暇あったら人物名鑑読んでください!!忘れてるでしょ!?

のぞみ「う」

コンコン

響「あ、はい。」

ガチャ

????「あ、響!」

響「奏じゃん!!」

のぞみ「どうしたの?」

奏「いや、ちょっと気になる事が・・・」

.....

スーパー戦隊ですか？

奏「私達スーパー戦隊の力を手に入れてないでしょ？もらえるなら
なにな〜って。」

のぞみ「じゃあとりあえずスーパー戦隊全員呼んできたよ。」

響「ええ！？力与えた人達も！？」

ゴーカイシルバー「うっはあ！？スーパー戦隊だあ！！」

あんたは黙ってなさい！！

「5人揃ってゴレンジャー！！」

「我らジャッカー電撃隊！！」

「バトルフィーバー！！」

「見よ！！電子戦隊、デンジマン！！」

「輝け！！太陽戦隊、サンバルカン！！」

「大戦隊！！ゴーフアイブ！！」

「爆発！！科学戦隊、ダイナマン！！」

「超電子！！バイオマン！！」

「電撃戦隊！！チェンジマン！！」

「超新星！！フラッシュマン！！」

「光戦隊！！マスクマン！！」

「超獣戦隊！！ライブマン！！」

「高速戦隊！！ターボレンジャー！！」

「地球戦隊！！ファイブマン！！」

「鳥人戦隊！！ジェットマン！！」

「恐竜戦隊！！ジュウレンジャー！！」

「天に輝く五つ星！！五星戦隊、ダイレンジャー！！」

「人に隠れて悪を斬る！！忍者戦隊、カクレンジャー！！」

サスケ「成敗！！」

響「いやいやいや！？止めて！？」

「超力戦隊、オーレンジャー！！」

「戦う交通安全！！激走戦隊、カアアレンジャアア！！」

「電磁戦隊、メガレンジャー!!」

「銀河を貫く伝説の刃!! 星獣戦隊、ギンガマン!!」

「人の命は地球の未来、燃えるレスキュー魂!! 救急戦隊、ゴーゴ
ーファイブ!!」

レッド「出場!!」

「タイムレンジャー!!」

「命あるところ、正義の雄叫びあり!! 百獣戦隊、ガオレンジャー
!!」

レッド「人も知らず!!」

ブルー「世も知らず!!」

イエロー「影となりて悪を討つ!!」

レッド「忍風戦隊!!」

「ハリケンジャー!!」

レッド「あ、参上!!」

響「一番文字数使ったね。」

レッド「荒ぶるダイノガッツ!!」

「爆竜戦隊、アバレンジャー！！」

「特捜戦隊、デカレンジャー！！」

「溢れる勇気を魔法に変える！！魔法戦隊、マジレンジャー！！」

「果てなき冒険魂！！轟轟戦隊、ボウケンジャー！！」

「燃え立つゲキは正義の証！！獣拳戦隊、ゲキレンジャー！！」

「正義のロードを突き進む！！炎神戦隊、ゴオンジャー！！」

「天下御免の侍戦隊、シンケンジャー！！参る！！」

「地球を守るは天使の使命！！天装戦隊、ゴセイジャー！！」

「海賊戦隊、ゴーカイジャー！！」

これで全員ですね。

奏「音楽のスーパー戦隊はいないんだ。」

響「んゝ、悩むね。」

のぞみ「サヤさん久しぶり〜」

ギンガピンク「のぞみちゃん久しぶり！！」

響、奏「んゝ・・・」

・・・

ゴークイレッド「おい、まだか？」

ゴセイレッド「そろそろ決めてもらわないと・・・」

響「んゝ・・・なんか悩んでたらトリオ・ザ・マイナーを思いだした。」

奏「ムカつくね、暴れたいわ・・・暴れたい？」

デデデーン！！デ・デ・デ・デーン！！

この音楽は！？

？？？「徳川。宗、ただいま到着した。」

響「暴れん。将。！！？」

エレン「ヤッホー！」

奏「エレン！？馬に乗ってきたの！？」

吉宗「では拙者はこれで。」

パカラパカラ・・・

のぞみ「奏ちゃんが暴れたいわなんて言うから。」

奏「だってゝ。」

なんかエレンさんなんだかんだで来ましたね。

エレン「うん。」

???「あの、暴りたいんですか？」

響「え？」

アバレンジャーのみなさん？

アバレブルー「暴りたいのなら俺達の力がぴったりだな。」

アバレイエロー「私もそう思う!!」

アバレブラック「考えてみませんか？」

アバレキラ「お前らの暴りたいという思い、久々にときめいた。」

エレン「アバレンジャーか・・・」

奏「良いね!! トリオ・ザ・マイナーも倒せそう!!」

響「アバレンジャーにしようか!!」

・・・

響「おお、凄い力!!」

良かったですね。

のぞみ「あれ？あれはまさか・・・」

奏「あ！！」

エレン「トリオ・ザ・マイナー！！」

バスドラ「見つけたぞプリキュア！！今日が貴様らの最後だあゝ」

バリトン「最後だあゝ」

ファルセット「最後だあゝ」

耳障りですね。

のぞみ「うん。」

バスドラ「うるさあい！！」

アバレット「今こそアバレンジャーの力です！！」

響「はい！！！」

「レッツプレイ！！プリキュア・モジュレーション！！」

メロディー「で、どうしたら良いの？」

リズム「わからない（汗）」

ビート「えーと・・・」

アバレキラー「こいつ使え。」

メロディー「なにこれ？」

アバレイエロー「アバレンジャーの変身アイテムだよー!!」

アバレブラック「それをつけてー!!」

リズム「こう?」

アバレブルー「そして爆竜チェンジだ。」

ビート「よ、よーしー!!」

「爆竜チェンジー!!」

うおおお!!?

のぞみ「すつごおおいー!!」

トリオ・ザ・マイナー「な、なんだあゝ」

凄い凄い!!あっ・・・ゴホン

メロディー、リズム、ビートは衣装は全体的に尖った形になり髪はさかだちそして腕には鋭いオーズのトラクローのような物がついた。

「スイートプリキュアー!!爆竜シルエツトー!!」

バスドラ「ふん！！尖ったくらいで何かわる！！いく・・・」

ファルセット、バリトン「行くぞ〜」

バスドラ「お前たちが言うなあ！！」

メロディー「はあ！！」

リズム「やあ！！」

ビート「てやあ！！」

バスドラ「は、はい！？」

のぞみ「凄い！！」

ファルセット「ぐは！？」

バリトン「のう！？」

バスドラ「お、おのれ！？」

メロディー「とどめよ！！」

「集まれ、荒ぶる！！ハーモニーガッツ！！プリキュア・ダイノ・ハーモニーコンチェルト！！」

凄い！！あ・・・ゴホン

無数の音符が凄まじい威力で恐竜のようにトリオ・ザ・マイナーに

襲いかかった。

トリオ・ザ・マイナー「に、逃げろっ」

ビート「あ、逃げた!!」

リズム「もうちょっとだったのに!!」

・・・

響「アバレンジャーさんありがとうございます!!」

アバレッド「大した事はしてませんよ。」

アバレブル「そろそろ行くぞ。」

アバレイエロー「もうせつかちですね。」

アバレブラック「みなさんさようなら!」

アバレキラ「これからも暴れて暴れて暴れまくれ。」

・・・

依頼成功!!

響「いいい!!ミラクルライトゲット!!ありがとうございます奏、エレン!
!」

奏「良かったね響!」

エレン「早く帰ってきてね。」

ミラクルライト 残り12本!!

つづく

第10依頼 スイート戦隊!!（後書き）

次回!!第11依頼

???「ちよつとのぞみを空気にしないでよ。」

のぞみ「ああ!?!」

響「あなたは!?!」

???「私は消えられないわ、のぞみと同じプリキュアになるまでは!?!」

第11依頼 闇夢の彼方

第11 依頼 闇夢の彼方

のぞみ「あたしって空気だよね？」

響「いきなり何言ってるの!？」

そうですねよ主人公でしょ!？

のぞみ「いやだって前回といい私セリフ数五回程度だったじゃん!」

まあ反論はできないけど・・・

響「い、いつか目立つ時がくるよ!！」

のぞみ「いつ!？何時何分何秒!？地球が何回回ったら!？」

久しぶりに聞きましたねその言葉。

響「小学校以来・・・」

ボタン!!

????「ちよつといじめないでよ!！」

あつ!？

のぞみ「ダークドリーム!！」

ダークドリーム「まったく……って抱きつくな!？」

のぞみ「だって嬉しいんだもん♪んで依頼？」

ダークドリーム「う、うん……私を……」

響「？」

ダークドリーム「私を……本物のプリキュアにしてほしいの!!」

響、のぞみ「!？」

………

どういう事ですか本物のプリキュアって？

ダークドリーム「私はまだ本物のプリキュアになれていないまま消えた、だからのぞみみたいに本物のプリキュアになりたいの!!」

のぞみ「ダークドリーム……」

響「でもどうすればいいの？」

困りましたね。

のぞみ「?、なんか外が騒がしくない？」

行ってみましょう。

………

あれは、ザンギヤック!?

???「私はキアイドール、ダークドリーム・・・貴様の首をもらい、
ここを破壊する。」

ダークドリーム「こいつを倒せば・・・はあ!!」

のぞみ「ちよつとダークドリーム!？」

響「ちよつと私達変身出来ないのに!？」

2人ともこれを!!

響「えっ、ガイアメモリにロストドライバー!？」

のぞみ「今は考えてる暇はないよ!!やろう!!」

響「う、うん!!」

「メロディー!!」

「ドリーム!!」

響、のぞみ「変身!!」

響とのぞみはガイアメモリによってプリキュアに変身した!!

キアイドール「無駄だ!!」

ダークドリーム「きゃあ!!」

ドリーム「ダークドリーム!？」

メロディー「大丈夫!？」

ダークドリーム「負けられない・・・本物のプリキュアになるまでは!!」

ドリーム「・・・ダークドリーム、本物のプリキュアって・・・何?」

ダークドリーム「え？」

メロディー「ドリーム？」

ドリーム「あなたが目指している本物のプリキュアって何?ただ悪者を倒せばプリキュアになれるって思ってる？」

ダークドリーム「それは・・・」

ドリーム「プリキュアは悪者を倒すのが目的じゃない、誰かの笑顔や幸せのために戦うのが本当の目的なの。」

ダークドリーム「!」

キアイドール「いつまで話している!!」

メロディー「危ない!!」

メロディーが攻撃を受け止めた!!

メロディー「なんのこれしき!!」

ドリーム「ダークドリーム、あなたはもうプリキュアなんだよ?」

ダークドリーム「私は・・・プリキュア・・・」

メロディー「よし燃えてきたあ!!」

キアイドー「ぐ!!」

メロディー「とどめはドリーム達、頼むわ!!」

ダークドリーム「・・・いこう、のぞみ!!」

ドリーム「うん!!」

2人の合体必殺技です!!

「プリキュア!! シューティング・ツインドリームスター!!」

キアイドー「ぐああ!?!」

・・・

ダークドリーム「のぞみ、ありが・・・」

のぞみ「何も言わない!! 私は何もしてないよ?」

ダークドリーム「・・・うん。」

依頼成功

響「えっ！？でも依頼は始めから・・・」

特別ですよ、そうだダークドリーム、君もここで働かないかい？

ダークドリーム「え、ええ！？」

のぞみ「良いね、働こう働こう！！」

響「賛成！！」

ダークドリーム「・・・良いの？」

仕事は沢山いたほうがはかどりますからね。

ダークドリーム「・・・お、お願いします！！」

ようこそそのぞび探偵事務所へ！！

ミラクルライト残り11本！！

つづく

第11依頼 闇夢の彼方（後書き）

次回！！第12依頼

のぞみ「先生！！」

「？？？」「被ってるだろ！？」

「？？？」「そりやないっすよー！？」

ダークドリーム「なんか疲れるね。」

響「そんなもんさ。」

第12依頼 遺影フォームとお面屋フォーム！！

第12話 遺影フォームとお面屋フォーム!!

のぞヒビ探偵事務所、異世界の狭間『パラレルゾーン』に存在する探偵事務所、ちなみに探偵らしいことはこれとしてやっていない。

ダークドリーム「自分で言うこと? (汗)」

響「確かに探偵らしいことしてないけどさ・・・あれ?」

のぞみ「うえ〜ん!!」

のぞみさんどうしたんですか!?

響、ダークドリーム「のぞみ!? 何があったの!？」

のぞみ「豪華なおやつの夢見てたのに目が覚めちゃった〜!!」

よし、とりあえずみなさんゴレンジャーハリケーン・ゴミ清掃車!!

響「おう!! っていやいや!？」

ダークドリーム「本編でもどこに運ばれたか謎だったんだからやめよう!？」

のぞみ「ちょっと〜!! こっちは真剣だよ〜!!」

コンコン

ダークドリーム「い、依頼人ってやつ?」

響「そっだよ、どうぞ。」

????「天が呼ぶ地が呼ぶ人が????「引っ込んでろ!!」
ぬ
おっ!？」

のぞみ「あ、先生!!」

????「よっ!」

ダークドリーム「仮面ライダーディケイドの主人公・門矢士、ちなみにスーツの青。に出演した事がある。」

響「すごっ!?!人物名鑑覚えたの!?!」

ダークドリーム「ええ、昨日夜はオールして暗記したわ。」

のぞみ「どおりで目にクマが・・・」

士「おい、依頼・・・」

あゝ、はいはい!!

・・・・・・

のぞみ「ええ!?!訴えたい!?!」

士「まずはこれを見る、テレビバエ!」

テレビバエ「どうもテレビバエでございます、再生!!」

『ファイナルカメンライド！！ディケイド！！』

仮面ライダーディケイド！！コンプリートフォーム！！

『ゴオオカイルバアア！！ゴールドモード！！』

ゴカイルバー！！ゴールドモード！！

．．．．．

士「被ってるだろ！？」

のぞみ「か、顔がいつぱい．．．」

????「ちよつと！！」

ダークドリーム「あ、伊狩鎧！！」

鎧「どこが被ってるんすか！？」

士「どっからどう見ても被ってるだろ！！もう一度見る！！」

．．．．．

『ゴオオカイルバアア！！ゴールドモード！！』

．．．．．

士「どこのお面屋だお前は！！」

鎧「そりやないっすよ！？かつこいいじゃないですか！？アバレキラーにタイムファイヤーにドラゴンレンジャーとか！ーじゃあこっちはどうなんすか！？」

・
・
・
・
・

『ファイナルカメンライド！！ディケイド！！』

・
・
・
・
・

鎧「遺影を体にはっつけて戦うってどんな趣味っすか！？」

士「遺影じゃねえカードだ！！」

鎧「同じようなもんじゃないすか！？」

士「黙れお面屋！屋台でも開いてろ！！」

鎧「うるさい遺影趣味！！葬式でも開いてろ！！」

のぞみ「うわわわ！？」

ダークドリーム「なんか疲れるね。」

響「そんなもんさ。」

あ、すみません、はい・・・のぞびび探偵事務所まで、はい、お願いします。

ピッ

ダークドリーム「電話ですか？」

はい、ある人に。

ガチャ

????「のぞヒビ探偵事務所はここですか？」

ダークドリーム「ええ！？遊戯王の武藤遊戯！？」

遊戯「え」と、どうすれば？」

カードで喧嘩を止めてください。

遊戯「（相棒、ここは俺にやらせてくれないか？）もう一人の僕・
・うん。」

ロツテリア」

遊戯「似た者同士で喧嘩なんてするな！！ブラック・マジシャン召喚！！ブラック・マジック！！」

鎧士「ぎゃあああ！？」

・
・
・
・
・

のぞみ「喧嘩は終わったけど依頼は失敗だね。」

ダークドリーム「私の力が及ばなかったわ。」

響「良いよ、今回ばかりは。」

とりあえず2人は元の世界に返しておいたんで。

ミラクルライト 残り12本!!

つづく

第12話 遺影フォームとお面屋フォーム!!（後書き）

次回!!第13依頼

???「探偵事務所など自分が悪魔だという事を隠しているだけの建物だ。」

???「あらあ、ナレーション良い声してるじゃない、嫌いじゃないわ!!」

???「.....」

のぞみ「しゃべんないの?」

ダークドリーム「なんか凄い体格ね。」

???「スーツアクターだったからな!!」

???「本当は悪い人じゃないの!!」

第13依頼 永遠の青い炎

第13依頼 永遠の青い炎

響「……………」

ダークドリーム「……………」

のぞみ「……………」

……………」

『生きてるんだろ！！お前達はまだ！！』

……………」

『人は皆……悪魔だという事を！！』

……………」

響「うわあああん！！」

ダークドリーム「エターナルにこんな過去があったなんて！！」

のぞみ「しかも本編の後のエンディング反則だよ！！」

ちよつとちよつと感動するのは良いけどなんか事務所が水浸しですよ？

のぞみ「だって……………！！」

なたなんか嫉妬するほどしつとりしてなかったもの！！あら？でも私死んでるのにお肌がしつとりしてるの！？それであいつのお肌はしつとりするほど嫉妬してるってこと！？あら！？しつとりしてる嫉妬してたお肌！？嫉妬してる嫉妬！？しつとりなしつとり！？嫉妬しつとりいいいいいいいいいいいいいいいい！！」

剛三「だあああああ！！うるさあああああ！！京水！！お前すこし黙ってるよお！！賢、お前なんかしゃべれよ！！」

賢「幕切れに……良い事もあつた……」

「ダークドリーム」あつ、本編と同じ。」

依頼はドリームとメロディーのガイアメモリを差し出すですね、それは引き受けるわけにはいきません。

克己「ほう。」

のぞみ「確かにダークドリームは戦えるけど私と響はたしかにガイアメモリがないと依頼を達成するのは厳しいんですよ。」

克己「探偵事務所など自分が悪魔だという事を隠しているだけの建物だ。」

響、のぞみ、ダークドリーム「……………」

•
•
•
•
•
•

「過去が消えていくなら、俺はせめて明日が欲しい！！たがらあがきつづけてるんだよ。」

「人はみな、悪魔だという事を!!」

.....

何があるうとガイアメモリは渡せません。

京水「あらあ、ナレーション良い声してるじゃない、嫌いじゃないわ!!」

克己「まあ良い、明日まで時間をやろう、それまでに決めておけ、地下室を借りるからな。」

ちよつと勝手に!?

剛三「ナレーション!!あんまり俺達を刺激しないほうがいいぜ!!」

響「体格が良いからきつと強いよ、今は言うこと聞いておこつ?」

た、たしかに!!

ダークドリーム「それにしても体格良いわね?」

剛三「スーツアクターやってたからな!!」

賢「.....」

のぞみ「何もしゃべらないの?」

賢「・・・幕切れに・・・」

一同「またそれか!？」

・・・

夜

響「パラレルゾーンに夜なんてあるの?」

気にしない気にしない、それよりneverはどうします?

ダークドリーム「うゝん・・・」

のぞみ「依頼は依頼だけど・・・」

響「戦える唯一の手段がガイアメモリなんだし・・・」

レイカ「困ったわねえ・・・」

確かに困っ…うおっ!?!?ファイヤーガール!?

レイカ「そんな風に呼ばないで、あなた達私達を追い払うつもり?」

響「いやいや、どうにかガイアメモリから手をひいてもらえないかと・・・」

レイカ「無理ね、克己には何か目的があるから。」

ダークドリーム「目的?」

レイカ「そう、私達にも言えない目的。」

のぞみ「あ、そうだ…私気になつてゐる事があるの。」

レイカ「何？」

のぞみ「これこれ。」

・・・

W「さあ、お前の罪を数えろ!!」

エターナル「今さら数えきれるか!!」

・・・

克己「neverになると、過去の記憶や人間らしい感情が少しずつ抜け落ちてくらしい。」

・・・

のぞみ「克己さんは過去の記憶を覚えている？」

レイカ「忘れるわけにはいかないのよ、ミーナのこと。」

響「でもミーナは…」

響さん、言うてはだめです。

響「・・・うん」

レイカ「克己は悪い人じゃないの!」

のぞみ「わかってます、だから・・・ナレーションさん。」

良いんですね?

響「うん。」

・・・

翌日

克己「決心はついたか?」

のぞみ「はい、ガイアメモリは渡します。」

京水「あらあゝ、意外と素直ねえ。」

響「ただし、ガイアメモリを必要とする理由を教えてください。」

克己「ふん、威勢が良いな。」

剛三「俺達はneverだぞ!!」

響「関係ありません、あなたが抱えているものを何とかしたいんです!」

克己「・・・おい、外に出ろ。」

・・・

何ですか？外に呼び出して。

賢「！」

響「け、拳銃！？」

のぞみ「きゃあ！？」

????「ぐああ！？」

レイカ「ド、ドーパント。」

京水「さっすが克己ちゃん！！気づいていたのね！！」

まさか事務所に！？

克己「インビジブルドーパントか。」

インビジブル「ちえっ、ガイアメモリを奪うつもりが・・・」

『エターナル！！』

克己「変・・・身。」

『エターナル！！』

ダークドリーム「か、仮面ライダーエターナル！？」

エターナル「はあ!!」

インビジブル「ぐああ!?!くそ、いきなりなにしゃがる!?!」

エターナル「neverの邪魔者は消す。」

インビジブル「畜生!!」

????「ふん!!」

響「きゃあ!?!」

のぞみ「ほ、炎!?!」

ダークドリーム「あれを見て!!」

マグマドール「パント!?!」

マグマ「ガイアメモリをよこせ!!」

のぞみ「誰が・・・あれ!?!ガイアメモリがない!?!」

爆風で吹き飛ばされたのか!?!

インビジブル「運良く飛んできたぜ!!」

エターナル「馬鹿が・・・」

『ドリーム!!』

マグマ「こっちにも飛んできたぜ。」

『メロディー!!』

ああ!?!ドーパントがガイアメモリを!!

インビジブル「力がみなぎるぜ!!はあ!!」

エターナル「ぐう!?!」

京水「克己ちゃん!?!」

エターナル「お前達は手を出すな!!」

剛三「克己・・・」

エターナル「見せてやる、本当の地獄をな!!」

レイカ「私達はあのマグマをやりました。」

マグマ「この力は凄いぜ!」

響「きゃあ!?!」

ダークドリーム「たあ!!」

マグマ「そら!!」

ダークドリーム「きゃあ!?!」

のぞみ「ダークドリーム!？」

万事休す・・・!？

ダダダダダダッ!!

賢「ゲームスタート。」

マグマ「ぐう!?こしやくな・・・体が動かない!？」

京水「しめてあげるわ!!」

マグマ「この!!」

京水「く〜ね〜くね〜くねくね〜」

響「火炎弾をかわしてる!？」

のぞみ「でもなんか動きが嫌だ!!」

剛三「ふう!!はあ!!」

マグマ「ぐああ!？」

never・・・どうして・・・

レイカ「あなた達を助けてるわけじゃないわ、こいつら邪魔なのよ!!」

マグマ「このお死人があー!!」

レイカ「はあー!!」

.....

インビジブル「ぐああー!? 何故だ、何故ガイアメモリを二つも使っている俺が!?!」

エターナル「貴様はガイアメモリを使ってるのではない、使われているのだよ。」

『エターナル!! マキシマムドライブ!!』

インビジブル「ぐおおー!? 体が!?!」

マグマ「なんだこれは!?!」

エターナル「まずはマグマ、貴様だ。」

エターナルエッジの斬撃に氣をつけてくださいー!!

エターナル「はあー!!」

マグマ「ぐああー!?!」

エターナル「最後は貴様だ、ナレーションよ、上手く説明するんだな。」

は、はいー!!

『エターナル！！マキシマムドライブ！！』

エターナル「はあ！！はあああ！！」

エターナルは体を捻らせ背中を上空に向けたままインビジブルドールパントを蹴りつけ足をねじ込ませ回転しながら着地した。

エターナル「さあ、地獄を楽しみな。」

インビジブル「ぎゃああ！？」

・・・

克己「結局ガイアメモリは粉々か。」

響「あの・・・どうしてガイアメモリを？」

克己「しつこい奴らだ、これで我慢しろ、行くぞみんな。」

克己はミラクルライトを渡しneverは去って行った。

・・・

夜

ダークドリーム「ガイアメモリ図鑑、ドリーム、メロディーと・・・あつた！！」

『ドリームメモリ...希望の力により幸せを運ぶ。』

『メロディーメモリ…その美しい音色により生きる人、死人に関係なく落ち着かせる。』

ダークドリーム「まさか・・・克己は・・・」

・・・

克己「死人で悪魔の俺がこんな事を思うとは・・・まだお前がどこかで生きている気がするよ・・・」

ミーナ。」

第13依頼 永遠の青い炎（後書き）

次回！！第14依頼

???「親父にもぶたれた事ないのに!!」

ダークドリーム「過保護か!？」

響「キャラデザはイナ。マイレ。ンかあ。」

のぞみ「ハトプリぐらい衝撃デザインだね。」

第14依頼 モビルスーツで行きまーす!!

第14話 モビルスーツで行きまーす!!

のぞみ「ZZZZZZZZ」

響「ZZZZZZZZ」

ダークドリーム「ZZZZZZZZ」

3・・・2・・・1・・・早朝キタアアアアア!!

ドカンドカンドガアアン!!Σ

3人「ぎゃああああす!?!」

・・・

もう9時過ぎてますよ、そんなんじゃいつまでたってもあと11本集まりませんよ!!

響「だからって何フォーゼみたいに爆発起こしてるのさ!?!」

のぞみ「うう・・・」

ダークドリーム「ちょっとあんた語ってるだけなんだからちょっとは働きなさいよ!!」

ええ!?!僕!?!

ガシンガシン!!

響「な、何？地震？」

のぞみ「でもなんか段々大きくなってるよ？」

ダークドリーム「ちょっと見てくるわ。」

.....

ダークドリーム「ガガガガガガガアアアアアアア！？」

のぞみ「ど、どーしたの！？」

ダークドリーム「ガンダムよぉ！！」

「えええええええ！？」

.....

????「とお！！」

スタッ
Σ

????「赤の戦士の魂を受け継ぐ者！！アカレッド！！」

響「アカレッドってあんなテンパだったっけ？」

のぞみ「しかも赤くないね。」

ダークドリーム「やば、名前忘れた！？」

ロケット♪ドリル♪リミットブレイク!!

フォーゼ「ライダーロケットドリルキイイイック!!」

3人「ぎゃああああす!?!」

.....

???「改めて、僕はアムロ。」

ダークドリーム「そ・・・そう、ア、アムロよ・・・」

のぞみ「ネーミング・・・センス無さ過ぎ・・・ロケットドリルつて・・・」

響「まんますぎ・・・る・・・」

アムロ「実はガンダム新作・ガンダムAGEが出来たんだ、だから・・・」

ダークドリーム「だから?」

アムロ「歴代主役ガンダムでどれが一番強いを試すんだ!!」

のぞみ「ええ!?!無理だよあんな大きいのを何機も!!」

アムロ「無理じゃない!!やるんだ!!」

ダークドリーム「だから無理だつて!!」

アムロ「うるさい！！無理じゃない！！」

ダークドリーム「完全にキャラ崩壊してる。」

響「しつこい！！」

パコッ！！

アムロ「ぶ、ぶつたな、親父にもぶたれた事ないのに！！」

響「過保護か！？」

のぞみ「とりあえず電話してみる？」

ダークドリーム「うん、ナレーション、電話番号教えて。」

え〜と…08…

………

ヤマト達「ここかい？」

ダークドリーム「きたあああ！？」

アスカ「どうするんだ？」

アムロ「戦うんだ！！」

響「無理やりだなあ。」

アムロ「ていうか何故2人しかない！！まだZガンダムとかOOとかあるだろ！？」

作者はあまりガンダムについて知らないの。

アムロ「し、仕方ない・・・君達勝負だ！！」

ヤマト「やるの？」

アスカ「やるしかないだろ。」

・・・

つーわけで

ストライクフリーダム キラ・ヤマト

デステイニーガンダム シン・アスカ

ガンダムGP01 アムロ・レイ

響「レディゴー（棒）」

アムロ「親父いい！！」

ヤマト「スーパードラゲーン。」

アスカ「パムラフィオキーナ。」

アムロ「ぐあああ！？」

ダークドリーム「……え、終わり!？」

ヤマト「続ける?」

アスカ「いや、面倒だ。」

のぞみ「か、帰っちゃった……」

……

アムロ「し、初代主人公が……ガク。」

依頼成功!!

ダークドリーム「何この悲しい終わり方……」

つづく

第14話 モビルスーツで行きまーす!! (後書き)

次回! 第15依頼

??? 「勉強よ!!」

のぞみ、響「ひiiiiiii!」

ダークドリーム「私も!」

第15依頼 知性の青き勉強会!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6483v/>

のぞヒビ探偵事務所～のぞみと響と時々ダークドリーム!!～

2011年10月29日14時09分発行